

### 3.6.1 QPlayer を使用したバックアップ映像の再生

PC 上でバックアップファイルを再生するには QPlayer アプリケーションを使用します。録画ファイルをバックアップする際、QPlayer アプリケーションはバックアップフォルダに自動的に保存されます。QPlayer は再生モードと同様の機能を持ち、すべての映像を同時に表示するさまざまな画面分割タイプをサポートします。再生モードとの唯一の違いは、右下にプレビューボタン・プレイバックボタンがないことです。

アプリケーションを実行するには、バックアップフォルダから **install\_player** をダブルクリックして QPlayer をインストールします。インストールが完了したら、PC のデスクトップ上の **QPlayer** アイコンをダブルクリックします。

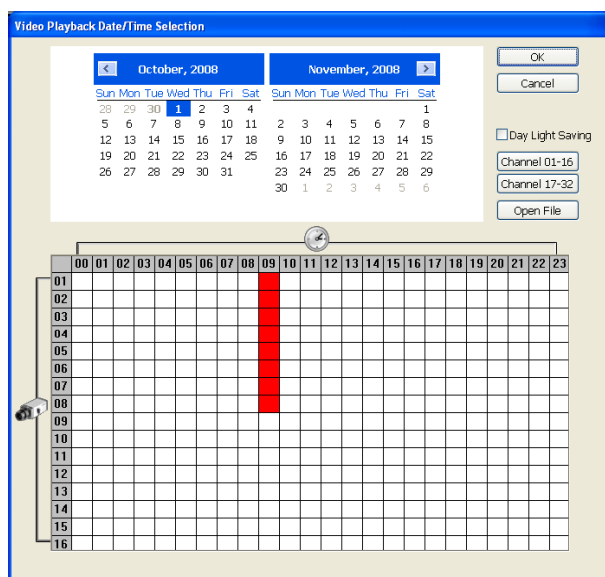


名称	機能
(1) 終了	本アプリケーションを終了します。
(2) 画面分割モード	全カメラの録画映像の均等表示再生、単一カメラの録画映像の再生または 1 台のメイン映像ウィンドウと他のカメラの小ウィンドウの同時再生など、6 つの画面分割再生パターンから選択。
<b>i</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラが 8 台しかない場合、16 画面・13 画面分割モードに切り替えることはできません。</li> <li>- 画面上の特定の領域を拡大表示するには、右クリックしてドラッグすることにより拡大領域を指定します。</li> </ul>
(3) タイムバー	再生中のファイルの進捗を表示。バー内の任意の位置に移動することでトラック内の該当箇所にジャンプできる。
(4) 時刻ボタン	時刻を選択してクリックすることで、特定の時間枠の録画映像ファイルを再生する。
<b>i</b>	時刻ボタンは 24 時間形式で時刻を表します。時刻ボタン上の青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。また、赤いバーは現在再生中の録画映像ファイルを示します。

名称	機能
----	----

(5) 再生制御ボタン	<p><b>先頭:</b> 録画ファイルの先頭に移動。</p> <p><b>前:</b> 前のコマに戻る。</p> <p><b>スロー:</b> 録画映像のスロー再生(1/2x, 1/4x)。</p> <p><b>巻き戻し:</b> 録画映像の巻き戻し。</p> <p><b>一時停止:</b> 録画映像ファイル再生の一時停止。</p> <p><b>再生:</b> 録画映像ファイルの再生。</p> <p><b>倍速再生:</b> 録画映像の倍速再生(2x, 4x, 8x, 16x, 32x)。</p> <p><b>次:</b> 次のコマに進む。</p> <p><b>最後:</b> 録画ファイルの最後に移動。</p>
-------------	--

(6) Archive(アーカイブ)	<p>録画映像の再生開始日時を指定するには、カレンダーで日付を選択し、00~23の間で時刻を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>OPEN FILE(ファイルを開く):</b> HDD から録画ファイルを開く。</li> <li>- <b>Channel 01-16 &amp; Channel 17-32:</b> 再生カレンダーのチャンネルグループを切り替える。</li> <li>- <b>Day Light Saving(さマータイム調整):</b> 夏時間調整中の録画映像が再生カレンダーに表示される。</li> </ul>
--------------------	--



**i** 00~23の数字は24時間形式で時刻を表します。01~16の数字はカメラIDを表します。青いバーは、その時間帯の録画映像ファイルが存在することを示します。また、赤いカラムは録画映像ファイルの再生開始位置を示します。

(7) ステータスバー	録画日時および再生速度を表示。
(8) カメラID	映像表示中のカメラ番号を表示。シングル画面モード時にカメラID番号をクリックすると、そのカメラの映像に切り替わる。
(9) Language(言語)	UI言語を切り替える。
(10) Export(エクスポート)	<p>エクスポートにはスナップショット、印刷、映像クリップ出力機能が含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>スナップショット:</b> スクリーンショットをキャプチャして*.jpg形式で保存。</li> <li>■ <b>印刷:</b> スクリーンショットの印刷。</li> <li>■ <b>映像クリップ出力:</b> 分割したファイルを*.dvr形式で保存。</li> </ul>

名称	機能
----	----

(11) Segment(セグメント) 録画映像の一部分を選択する。  
録画映像の一部分を切り取って保存するには以下の手順を行う。

- 再生制御ボタンを使用、または再生進捗バーをドラッグして、切り取りの開始位置で一時停止する。Segment(セグメント)をクリックして開始マークをつける。



- 再生制御ボタンを使用、または再生進捗バーをドラッグして、切り取りの終了位置で一時停止する。Segment(セグメント)をクリックして終了マークをつける。分割を取り消す、またはセグメントマークをリセットする場合は、Segment(セグメント)ボタンを再度クリックする。



- Export(エクスポート)**→映像クリップ出力ボタンをクリックして切り取った部分を保存する。
- 名前をつけて保存ダイアログボックスでファイルの保存場所を選択し、ファイル名を入力して映像形式を選択する。

(12) Full screen(全画面) 全画面表示。普通表示に戻るにはマウスの右ボタンまたはキーボードのESCボタンを押すか、矢印アイコンをクリックする。



複数画面モード時に全画面表示に切り替えた場合、左クリックで単一映像/全ての映像表示が切り替えられる。

(13) Find Next(次を検索) モーション検出フレームで次のイベントまたは変化を検索する。Intelligent Search(知的サーチ)またはEvent Search(イベントサーチ)機能使用時に使う。

(14) Event Search (イベントサーチ) イベントログに記録されたアクティビティを検索する(例: センサー、モーション、ビデオロス)。(第 3.6.2 章も参照)

(15) Intelligent Search (インテリジェントサーチ) モーション検出フレームで変化を検索する(第 3.6.3 章も参照)。

(16) 音声 音声をオンまたはオフにする。

(17) インターレース除去 映像画質を向上させる。動きのない画像をキャプチャする場合はインターレース除去モードを#1 に、動きの多い画像の場合は#2 に設定する。